

編集 後記

日本公衆衛生学会雑誌は我が国の公衆衛生を学術的に支援する貴重な媒体として貢献してきました。今回も母子保健、小児保健、保健サービス評価、介護予防、公衆栄養など幅広いテーマが取り上げられています。国内発の情報が諸外国に発信できるようにと、一昨年から英文誌の刊行を進めてきました。年1回の発刊ではタイムリーな情報発信が難しいことから、今後は邦文論文と英文論文をハイブリット掲載することになりました。「Think globally, act locally」と言われてきましたが、国内の公衆衛生に関する実地活動が国際的に貢献することが期待されており、今後とも学会員の皆様には多くの投稿を頂けますようお願い致します。(吉田勝美)

12号予告 (第53巻・第12号)

原 著

健康推進員活動における活動満足感、活動負担感の尺度開発……………村山洋史, 他

公衆衛生活動報告

母親の予防接種に対する認識と接種状況

……………世古留美, 他

中山間地の配食サービスにおけるボランティア活動者の問題認識と保健福祉の広報に対する期待

……………柳澤尚代, 他

筑波大学公開講座 介護予防における筋力トレーニングのための 指導者養成プログラム 筋トレマスター研修会

日 時：第3回 2007年2月9日(金)～2月10日(土)

場 所：筑波大学東京キャンパス (東京メトロ茗荷谷駅下車 徒歩3分)

募集人数：40名

受講資格：市町村職員、ヘルパー、ケアマネージャー、介護予防に関わる方等

講習料：19,690円 (テキスト代含む)

申込方法：筑波大学公開講座ホームページ参照。(締切は2007年1月10日)

筑波大学学務部学務課教育公開担当宛に郵送または持参下さい。

締切後、受講決定者にご案内を通知します。

その他：合格者には「称号 筋トレマスター」の修了証を交付します。

問い合わせ先：筑波大学学務部学務課教育公開担当

TEL：029-853-2216

URL：<http://www.tsukuba.ac.jp/kouken/koukai.html#tky%20ippan>